NPO法人マンションサポートあいち通信　第21号　2019年10月

MSA ぼうさいこくたい特別号 ぱーとなーず

本気で防災宣言

マンション「在宅避難」のススメ

東海地方では、南海トラフ巨大地震への危機感が高まっています。わたしたちは、一つでも多くのマンション管理組合に「在宅避難」の準備を進めていただこうと、防災計画の作成や訓練実施の支援に力を入れています。

いつ来るか分からない巨大地震に備える

東日本大震災では、自主的な防災活動が行われていたマンションと、行われていなかったマンションで、被災生活に大きな差が出た事例が数多く報告されています。非常時への備えができていたマンションでは―

エントランスと集会室を一時的な避難所に

備蓄していた水や乾パン、ろうそくなどを配布。カセットコンロも貸与

居住者が協力して寝たきりの高齢者を３階から避難させた

仙台市　分譲マンション
防災マニュアル作成の手引から

あなたのまちは安全？防災マップを確認

巨大地震が起きたとき、自宅マンションがある地域でどのような被害が想定されるか、把握していますか？　自治体が作成する防災マップでは、揺れの大きさや液状化、津波の危険性などを確認できます。名古屋市では、「地区防災カルテ」として、防災に関する情報を学区ごとにまとめており、ネットで見ることができます。

建物の耐震性を高めることはもちろん、普段から、居住者同士で助け合える「共助」の関係を築いておくことが大切です。

防災マップで備えの一歩

10月20日（日）10:00～11:30、ワークショップ会場（名古屋コンベンションホール201会議室）で、ご自宅の防災マップを確認していただけます。

現在の防災対策 どれぐらい進んでいますか？

①居住者名簿　□ある　■ない
②要支援者　□把握　■把握していない
③バール、ヘルメットなどの備品
□ そろっている
■ そろっていない

④水、非常食、簡易トイレなどの備蓄品
□ そろっている
■ そろっていない
⑤被災対応組織　□ 決まっている
■ 決まっていない
⑥被災行動マニュアル　□ある　■ない
⑦被災生活ルール　□ある　■ない

⑧防災訓練／地域　□参加　■不参加
マンション独自　□実施　■未実施
⑨地震保険　□かけている　■かけていない

いくつ□に✓がつきましたか？　今後の防災対策を進める際の参考にしてください。
9~7　この調子で、さらにレベルアップを
6~4　できることが、ほかにもありそうです
3以下　管理組合でさっそく話し合いを

今すぐ準備！ マンション在宅避難

防災対策と言っても、左の①～⑨のようにその項目は多岐にわたります。在宅避難の準備を進めるために、それぞれのマンションの実情に合わせた防災計画を作成する必要があります。

【防災計画作成～実行のイメージ】

①総会で専門委員会設置を決議、人選
②委員会（６回程度）で基本方針を決定
　各項目を検討、答申づくり
③居住者向け説明会、（臨時）総会決議
④名簿づくり、備品購入、訓練実施など
　具体的な対策実行

これだけのことを進めるには、時間も費用もかかります。委員会の資料づくりだけでも大変なエネルギーが必要です。

そんな時、専門家の活用も考えてみませんか。わたしたちマンション管理士が、委員会運営や総会の議案書づくり、訓練実施などをお手伝いします。話だけでも聞いてみたい、という方には、ミニセミナーもあります。

出張ミニ防災セミナーのご案内

対象：分譲マンション居住者
内容：防災計画作成のポイント
時間：１時間半程度（ご希望に応じます）
料金：無料（交通費、資料代は別途）
※問合せは下記まで電話、ＦＡＸまたはメールでお願いします

管理組合の悩みに寄り添う　マンションサポートあいち

わたしたちは、マンション管理士※、一級建築士などの専門家が集まり、名古屋で設立したマンション管理士事務所です。①管理組合や理事会運営の支援・顧問業務　②管理規約・細則等の見直し、作成業務　③大規模修繕工事のコンサルタント業務―など分譲マンションの問題解決を支援しています。　※マンション管理適正化法で定める国家資格

〒468-0015　名古屋市天白区原2-3507
グランメールKAZU　2B
電話　052(804)4600
FAX　052(893)6620
E-mail　info@nagoya-mankansupport.jp
URL　「マンションサポートあいち」で検索